

SDG s の概要について

■SDG s とは

持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、本県、国も積極的に取り組んでいます。

日本の企業、NPO等の団体もSDG sの目標の達成を掲げて、様々な取組を実践しています。



■「三崎漁港本港特別泊地及び本港環境整備施設」との関わり

当施設は、三崎漁港を一時的に利用するプレジャーボートを本港特別泊地に集約することによって、プレジャーボートと漁船を分離し、円滑な漁業活動を確保するとともに秩序ある漁港利用を推進すること、また、水産と観光・商業の機能を併せ持つ集客施設として整備された「三崎フィッシャリーナ・ウォーフ」と連携し、地域振興を図ることを目的に設置された施設であり、SDG sの目標14（海の豊かさを守ろう）、目標17（パートナーシップで目標を達成しよう）と関わっています。

■参考

外務省が、企業・団体等の取組事例を紹介しておりますので、そちらもご参照ください。
 〈外務省 HP : <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/case/index.html>〉